電波新聞

2022年(令和4年)10月28日(金曜日)

# フェローテックホールディングス

## マテリアル製品など展開

### 石英機械加工品 世界でトップクラスシェア

フェローテックホールディングスは、半導体・自動車市場を中心にグローバルに展開する部品メーカー。

半導体製造装置関連事業では、半導体製造装置向けの治具・消耗材に使用されるマテリアル製品（石英、シリコン、セラミックス、CDV－SiC）、真空シール・金属加工、部品洗浄サービスなどを展開している。

同社は「ニッチトップ戦略」「M&Aによる成長」「グローバル対応」が特徴。4種類のマテリアル製品をそろえ、加えて金属加工や部品洗浄サービスもあるため、半導体製造装置メーカーから、ワンストップでの発注が可能な部品サプライヤーとして高く評価されている。顧客である半導体製造装置メーカーや半導体デバイスメーカーは、米国系、日系、中華系など多岐にわたる。

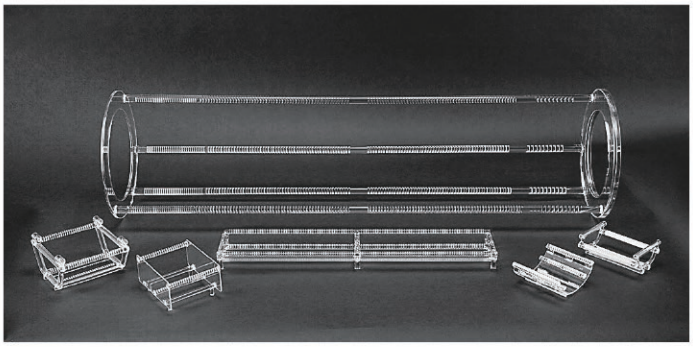
同社の半導体製造装置関連製品は、石英の機械加工品では世界トップクラスのシェアを持ち、火加工品でも高シェアを有している。セラミックスやシリコンパーツなども販売が大きく伸びている。

生産体制は日本と中国を中心に確立しているが、今後はASEAN地域にも広げていく。近年、グローバルでの半導体市場の規模が拡大してタイムリーな増産体制が求められている中、同社は成長に対して非常にアグレッシブな姿勢で取り組んでいる。

顧客からの増産要請に対し、素早く経営判断してタイムリーに資金調達を行い、スピーディーな設備投資を実行することで、顧客の要請に応える。こうした取り組みにより、同社の業績は急成長が続いている。

今後も成長に向けた積極投資を計画する。熊本県大津町に新工場建設を計画しており、2023年春以降に着工し、24年に竣工（しゅんこう）する見込み。セラミックスを手掛ける石川県の生産拠点でも今年11月に第2工場を竣工予定だ。CDV－SiCを生産する岡山工場でも積極増産を進めている。

海外では大手半導体関連企業の進出が活発なマレーシアのケダ州において今年8月、新工場建設に着工した。中国でも石英、ファインセラミックス、シリコンなどの生産能力を順次増強する。



石英製品